

市川市市民活動団体支援金交付申請内容変更承認申請書

17年 6月 2日

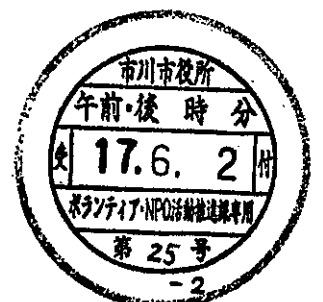
市川市長

団体名 いちかわ地球市民会議  
代表者名 高木 史人  
所在地 市川市鬼越1丁目23番3号松本方  
電話 047 (336) 4656

市川市市民活動団体支援金の交付申請内容について、下記のとおり変更の承認を受けたいので、市川市納税者が選択する市民活動団体への支援に関する条例第11条第1項の規定により、申請します。

記

1. 事業の名称 「市川市の地球温暖化問題と自然環境を考える体験型セミナー2005」
2. 変更の理由 当初申請した交付申請額を上回って、納税者より支援を頂いたため、当初の事業を拡大して変更申請するもの。
3. 変更の概要 当初、事業用の機材をレンタルする経費を計上していたものを、事業備品として購入することに変更する。
4. 変更後の事業費総額 256,000 円
5. 変更後の交付申請額 128,000 円
6. 添付書類
  - (1) 市川市市民活動団体支援金申請事業計画書（様式第3号）
  - (2) 市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書（様式第4号）



市川市市民活動団体支援金申請事業計画書

<p>事業の名称</p>	<p>市川市の地球温暖化問題と自然環境を考える体験型セミナー2005</p>	
<p>事業の目的、効果、 アピール等  ※別紙添付可</p>	<p>今日地球温暖化は待ったなしの人類共通の課題である。市川市民を対象に太陽熱や保温調理のエコクッキング体験学習と石井信義先生著「いちかわ自然の窓」を学び地球温暖化防止・自然環境保全に関する関心高め、エコライフを実践する市民を育成する。 身近な料理を通しての啓発は環境問題に無関心な市民でも参加しやすく環境・啓発普及に効果が期待できる。 また生涯、市川市の自然・生物の調査・研究・保全活動された、故・石井信義先生の遺された著作を学ぶことは、いちかわに愛着をもつ市民が増え、市川市民の連帯感が強まると考えられる。</p>	
<p>主な対象者</p>	<p>市川市在住者</p>	
<p>事業実施期間</p>	<p>平成17年9月</p>	
<p>事業実施場所</p>	<p>市川市少年自然の家（研修室・グランド）</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p>	<p>内容</p> <p>① 4月より月1回体験型セミナー準備委員会を開く</p> <p>② ソーラークッキング及びエコクッキングの体験学習（野外） ☆「種まく会」による「エコショッピング学習」 ☆ソーラークッカーを使い炊飯 ☆自然エネルギーデモンストレーション機器による体験学習 ☆かまどと薪で煮炊きし保温調理（カレー他） ☆試食（9月）</p> <p>③ 「いちかわ自然の窓」石井信義先生著を通しての講演及び現地見学（フィールドセミナー） ・今回は大町の自然編 講師未定</p> <p>④ 0月をめどにこの事業の報告書を作成する 尚、ソーラークッカーとは、太陽の光を凹面状を持つ鉄板の太陽のエネルギーを集め、そのエネルギーを料理に使う装置です</p>

## 市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書

事業の名称：「市川市の地球温暖化問題と自然環境を考える体験型セミナー2005」

### 1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入	50,000	参加費1人1,000円×50人
会費収入	30,000	年会費1,000円×30名分を充てる
補助金収入	128,000	市川市市民活動団体支援金
寄付金	48,000	複数人による
合 計	256,000	

### 2. 【支 出】

（単位：円）

項 目	金 額	説 明 (積算等)
講師料	30,000	2人1日
資料費	25,000	1人500円×50人
印刷費	30,000	ポスター作成・案内チラシ・報告書作成
事務用消耗品	20,000	ボールペン・マジック・デジカメ用スマートメディア（記録用）他
通信費	5,000	切手・封筒便箋
機材費	70,000	パラボラ型ソーラークッカー一式
機材費	76,000	自然エネルギーデモンストレーション機器一式
合 計	256,000	

### 3. その他

交付決定額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（  はい ・  いいえ ）

備考 支援金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に支援決定事業収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。